

「地域と共にある学校」

各校の実践

第2号

地域と連携した教育

令和元年9月20日

南会津教育事務所

たくさんの地域の方との交流・学習「ふれあい教室」

南会津町立館岩小学校・南会津町教育委員会分室

館岩小学校では異世代間のふれあいと昔の遊びや身近にある物を大切にしようとする心を養うことを目的として、毎年「ふれあい教室」を実施しています。これは、南会津町教育委員会分室の協力を得て実施しています。講師の先生は、高齢者学級「いきいき倶楽部館岩」の方（15名）でした。ふれあい教室では、割り箸鉄砲、万華鏡、パラシュート、切り絵の作り方を教わりました。そのほかに、子どもたちがこまやお手玉、けん玉で楽しく遊ぶ姿も見られました。最後には子どもたちから教えてくださった方に感謝の気持ちを込めて、肩たたきのプレゼントがありました。



【切り絵の作成】



【作品の発表】



【割り箸鉄砲】



【肩たたきのプレゼント】

連携のメリット

- 子どもたちは地域の方からたくさんのお話を学ぶことができます。子どもたちは、新しい学びとともに地域の方に支えられていることも学んでいます。
- 地域の方にとっては、学んだことを生かすチャンスになっています。教えてくださる方の学びにもつながります。
- 子どもたちと地域の方とのあたたかい交流がありました。両者に笑顔がたくさん見られました。思いやりの気持ちや感謝の気持ちの育成にもつながっています。

参考にすべき点

- 学校（地域連携担当教職員）と南会津町教育委員会分室の社会教育指導員が連絡を取り合い、学校と教育委員会分室が連携して、ふれあい教室を実施しています。
- 講師の先生との連絡調整については、社会教育指導員が行っており、学校の負担軽減につながっています。
- 講師の先生への感謝の気持ちをお礼の言葉だけではなく、肩たたきという形でも表現し、地域の方との心の交流がありました。